

研究課題：腸重積症に対する非観血的整復術の不成功に至る可能性に関する画像所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：腸重積症の治療は非観血的整復術が選択されますが、どのような画像所見があると不成功に至るのかを検討しまとめます。
2. 研究の概要：腸重積症は小児における急性腹症、かつ早期に加療をようする代表的な疾患です。治療はX透視下、もしくは超音波下における高圧浣腸を用いた非観血的整復術が選択されます。しかし、それによって腸重積の改善、つまり整復がみられなかった場合は、観血的手術である腹腔鏡下、もしくは開腹下の整復術が選択されます。非観血的整復術のみで腸重積が整復されるかを予測する画像所見については、いくつか報告されていますが、確固たる画像所見はいまだに定まっていません。当院でも、非観血的整復術では腸重積の改善が見られず、観血的整復術が選択されることになった患者様もおられます。どのような画像所見があると、そのような選択に至るのかを検討しまとめます。これによって、腸重積の観血的整復術への移行の判断をより早期に行い、より迅速な外科的処置への移行が容易になると考えます。
3. 研究の方法
研究期間は2000年9月から2020年11月まで患者様で、腸重積症と診断され、加療された患者様の、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2021年2月から2021年7月までの6ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
腸重積症の検査、加療のため撮影された患者様の検査時その後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがあります

が、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

7. 研究組織

研究責任医師： 細川 崇洋

研究施設名： 埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先： 330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年 4月 30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）